

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	017								
事務事業名	女性相談経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	02	項	01	目	08	事業	02	
担当部	市民生活部	担当課	市民協働課		担当係	男女共同参画係													
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略				<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 第2次常総市男女共同参画後期実施計画 2019~2023年度)				根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 男女共同参画推進条例, 女性相談実施要綱)									

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か?→ ②一方で、「現状や課題」はどうか?→ ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。											
現状課題	女性が抱える様々な悩みは多様化しており、女性の人権、困りごと、暴力、育児、介護、健康、労働に関することなどあらゆる相談に対応している。相談内容としては、家庭の人間関係や心の相談が多くなっている。										誰・何を対象に	市民又は市内に通勤・通学している女性。									
											どのような方法・手順で	女性臨床心理カウンセラー(茨城県境町在住)による面談または電話相談を事前予約し、毎月第3火曜日に4名まで相談できるよう開設している。									
											望ましい状態	女性が社会で活躍して行くうえでキャリアアップのサポートや、職場では話しにくいセクハラやパワハラなどの相談もできるような働きやすい環境が整備され、少しずつ男女共同参画社会が進み相談者が減っていくこと。									

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	相談件数	単位	人	目標値	36	目標年次	2018	年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	相談日は、毎月1回4人が可能であるため、1年間36人が目標。									

4 事務事業の実績 ①										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。									
年度	2016年度				2017年度				2018年度										
	業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量								
事務事業を構成する主な業務	①	女性相談業務	12回		①	女性相談業務	12回		①	女性相談業務	12回								
	②	女性相談カードを作成	2,000枚		②	女性相談カードを作成	3,000枚		②	女性相談カードを作成	2,000枚								
	③	女性相談チラシ及びカードを公共施設・店舗・飲食店等に設置	28か所		③	女性相談チラシ及びカードを公共施設・店舗・飲食店等に設置	30か所		③	女性相談チラシ及びカードを公共施設・飲食店等に設置	35か所								
	④	女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集	随時		④	女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集	随時		④	女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集	随時								
	⑤				⑤				⑤										
	⑥				⑥				⑥										
	⑦				⑦				⑦										
	⑧				⑧				⑧										
	⑨				⑨				⑨										
	⑩				⑩				⑩										
	⑪				⑪				⑪										
	⑫				⑫				⑫										
	目標値に対する実績値		36	人	目標値に対する実績値		42	人	目標値に対する実績値		42	人							
決算額	計	225,220 円	内訳	特定財源		円	計	225,198 円	内訳	特定財源		円							
				一般財源	225,220 円					一般財源	225,198 円								
	(住民一人あたりの行政コスト)		4 円		(住民一人あたりの行政コスト)		4 円		(住民一人あたりの行政コスト)		4 円								

5 担当者評価 ③										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標未達成	成果内容	公共施設・店舗・ドラッグストア・飲食店等に、女性相談のチラシや相談カードの設置をすることで、周知を図り、相談しやすい環境を提供している。相談に来る方も、相談カードをみたことにより、勇気を持って相談にきている。																
問題点	相談の予約は入るものの、相談者は話をすぐ聞いて対応してほしいのが現状である。相談日まで待たず、キャンセルする相談者が多いが、件数としては昨年と変わらない状況だった。まだまだ、女性が活躍していく上では多くの悩める女性が多い事が伺える。																		

6 担当部長及び担当課長評価 ③										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	相談内容については、女性それぞれ問題を抱えており、事案についても多種多様化している。女性が一人で悩み、ネガティブな精神状態で生活を営むことは、家庭・子育て・職場において、決して男女共同参画社会を目指す女性活躍推進には繋がらない。女性が心身を健康に保つため、一定の資格を有するカウンセラーによる相談業務は、一時の安らぎと孤立化を防ぐことから一定の評価に値し、現行どおりとする。																		

7 実施計画 ⑥										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。									
年度	2019年度				2020年度				2021年度										
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●女性相談業務 (年12回) 18,360円(税込)×6ヵ月+18,700(税込)×6ヵ月 ●女性相談カードを作成 ●女性相談チラシ及びカードを公共施設・店舗・飲食店・ドラッグストア等に設置 ●女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集 ●職員におけるセクハラ、パワハラ等アンケート調査の実施 ●セクハラ、パワハラのDVD研修会 				<ul style="list-style-type: none"> ●女性相談業務 (年12回予定) ●女性相談カードを作成 ●女性相談チラシ及びカードを公共施設・店舗・飲食店・ドラッグストア等に設置 ●女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集 ●企業向けのセクハラ、パワハラ等のアンケート調査の検討をする ●セクハラ、パワハラのDVD研修会 				<ul style="list-style-type: none"> ●女性相談業務 (年12回予定) ●女性相談カードを作成 ●女性相談チラシ及びカードを公共施設・店舗・飲食店・ドラッグストア等に設置 ●女性相談チラシ及びカードの新規設置店を募集 ●企業向けのセクハラ、パワハラ等のアンケート調査の検討を実施 ●セクハラ、パワハラのDVD研修会 										
	成果指標	指標名	相談件数のうち仕事・職場の人間関係の相談	単位	人	目標値	5	指標名	相談件数のうち仕事・職場の人間関係の相談	単位	人	目標値	5	指標名	相談件数のうち仕事・職場の人間関係の相談	単位	人	目標値	5
	予算額	歳出	計	228 千円	歳出	計	470 千円	歳出	計	470 千円	歳入	計	470 千円	歳入	計	470 千円	歳入	計	470 千円
		特定財源			特定財源			特定財源			一般財源	228 千円		一般財源	470 千円		一般財源	470 千円	
		一般財源	228 千円		一般財源	470 千円		一般財源	470 千円		計	470 千円		計	470 千円		計	470 千円	

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017~2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された2018年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。真の男女共同参画社会の実現を図っていくうえで、カウンセラーによる相談業務は必要な事業である。今後は、年齢や内容に応じてグループ毎に開催するなど、新たな相談方法を検討してはどうか。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ③									
事務事業の方向性									
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	本事業は、相談件数が多く、男女共同参画社会の実現に向けて、大切な事業である。カウンセラーによる相談業務は必要な業務であり、今後も、女性の心身の健康のために、継続すべき事業である。								

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ④										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分はこの欄に記入してください。									
事業内容																			